

本構想の目的

大雪山国立公園東大雪地域に位置するぬかびら源泉郷において、観光や優れた自然の中で自然学習、野生生物とのふれあいなど高度な自然体験の機会を提供するための情報発信拠点として「ひがし大雪自然館」が平成25年に整備されました。

本業務は、本施設を拠点として地区内にある温泉街の優れた景観を望む快適な利用環境を整えるため、必要となる自然資源、社会的条件、風致上の支障等の調査を行うとともに、景観再生に向けた構想の策定を行うことを目的とします。

構想の作成経過

●ぬかびら源泉郷地区景観整備構想策定委員会(全4回)

第1回 平成26年4月25日

⇒ 現状の共有(自然館の開設等)
ぬかびら地域景観に関する課題について

第2回 平成26年5月30日

⇒ 「ぬかびら源泉郷地区の目指すべき景観」について
大雪グランドホテル跡地等や動線等の利活用について

第3回 平成26年6月18日

⇒ 景観整備構想全体(案)について
中央園地及び旧大雪グランドホテル跡地の景観整備構想(案)について

地域説明会 平成26年7月29日

第4回 平成26年8月中旬実施予定

ぬかびら源泉郷の現状と課題

◆現状 “ぬかびら”らしさ とは？

- ・雄大な自然景観 複数のビューポイント
- ・源泉かけ流しの温泉
- ・コンパクトな温泉街
- ・東大雪自然館の開設

◆課題

- ・滞留拠点(休める場所)の不足
- ・ホスピタリティ表現(おもてなし)の不足
- ・動線の整備
- ・廃屋等の存在
- ・旧東大雪博物館の取り扱い
- ・既存施設の管理